

ことしの村のしごと

～令和7年度予算概要～



the most beautiful
villages in japan

赤井川村

目次

1	令和7年度の赤井川村の予算総額	1	ページ
2	一般会計の内訳（歳入）	2	ページ
3	一般会計の内訳（歳出）	3	ページ
4	一般会計節別予算	4	ページ
5	科目別の主な事業の内容	5	ページ
(1)	議会費	5	ページ
(2)	総務費	5	ページ
(3)	民生費	8	ページ
(4)	衛生費	10	ページ
(5)	農林水産業費	12	ページ
(6)	商工費	14	ページ
(7)	土木費	15	ページ
(8)	消防費	16	ページ
(9)	教育費	16	ページ
(10)	災害復旧費	18	ページ
(11)	公債費	18	ページ
(12)	予備費	18	ページ
6	特別会計の状況	19	ページ
7	公営企業会計の状況	19	ページ
8	その他	20	ページ
9	令和5年度決算で見る赤井川村の財政状況	21	ページ

令和7年度の赤井川村一般会計予算総額は、 39億600万円です。

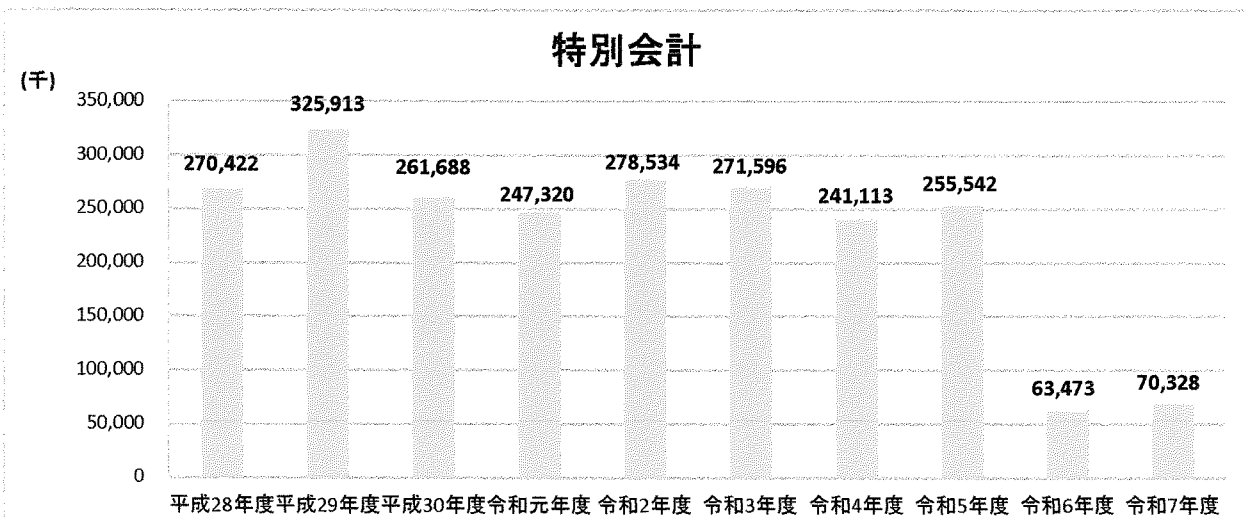
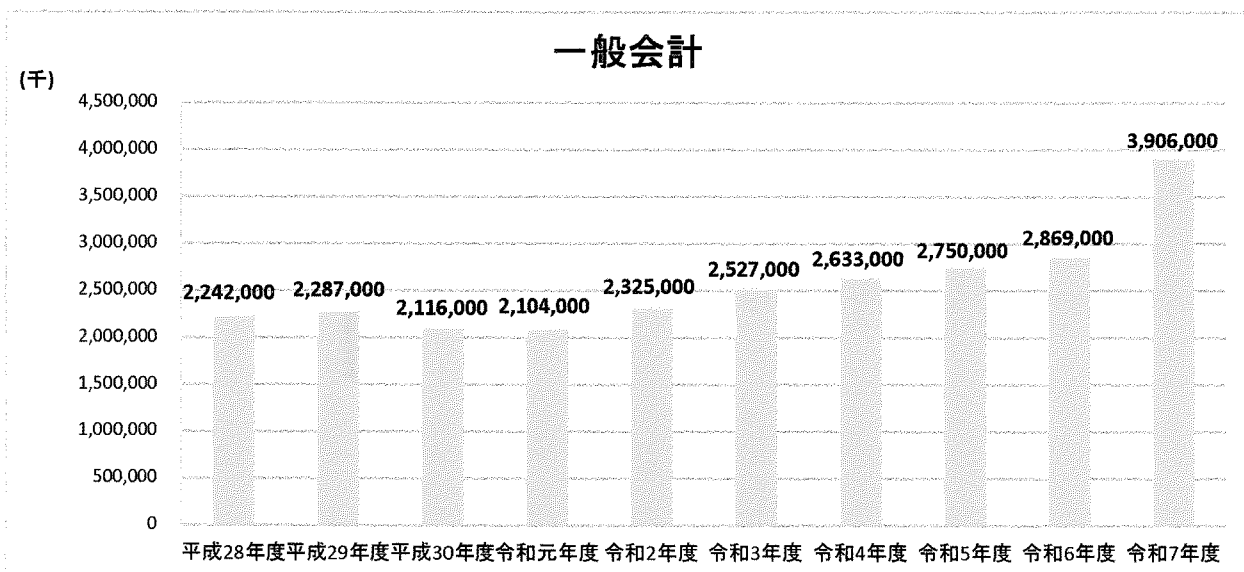
令和7年度赤井川村予算が3月7日(金)に招集された村議会第1回定例会において可決されました。

一般会計の歳入歳出総額は39億600万円で、役場庁舎改修に伴う工事費等により、前年当初予算に比べ10億3,700万円の増額となっております。

今後も財政的には厳しい状態が続くと予想されることから、内部執行経費の縮減に努め村政運営をしてまいります。新年度各会計予算額は以下のとおりです。

○各会計の予算額

会 計	本年度予算額	前年度予算額
一般会計	39億600万0千円	28億6,900万0千円
後期高齢者医療特別会計	2,123万2千円	2,018万2千円
国民健康保険特別会計	4,909万6千円	4,329万1千円
簡易水道事業会計	2億1,224万1千円	1億810万9千円
下水道事業会計	2億1,691万4千円	1億9,027万6千円



※令和6年度より簡易水道事業・下水道事業は、公営企業法適用により公営企業会計へ移行したため、上記のグラフ集計値からは除いています。

一般会計の内訳(歳入)

歳入合計 39億600万円

地方交付税	村債	国庫支出金	村税	繰入金	その他
29.0%	21.0%	15.5%	9.0%	8.1%	17.4%

(単位:千円、%)

款	本年度予算	割合	前年度予算額	比較	
				増減	比率
1 村税	350,256	9.0	323,001	27,255	108.4
2 地方譲与税	48,378	1.2	47,652	726	101.5
3 利子割交付金	37	0.0	40	△ 3	92.5
4 配当割交付金	340	0.0	300	40	113.3
5 株式等譲渡所得割交付金	370	0.0	270	100	137.0
6 法人事業税交付金	2,698	0.1	2,470	228	109.2
7 地方消費税交付金	30,000	0.8	29,000	1,000	103.4
8 自動車税環境性能割交付金	5,500	0.1	3,700	1,800	148.6
9 地方特例交付金	300	0.0	300	0	100.0
10 地方交付税	1,132,000	29.0	1,067,000	65,000	106.1
11 交通安全対策特別交付金	1	0.0	1	0	100.0
12 分担金及び負担金	12,616	0.3	7,352	5,264	171.6
13 使用料及び手数料	37,298	1.0	35,865	1,433	104.0
14 国庫支出金	604,465	15.5	297,484	306,981	203.2
15 道支出金	81,590	2.1	86,606	△ 5,016	94.2
16 財産収入	8,968	0.2	9,725	△ 757	92.2
17 寄附金	300,102	7.7	300,102	0	100.0
18 繰入金	318,702	8.1	132,114	186,588	241.2
19 繰越金	30,000	0.8	30,000	0	100.0
20 諸収入	121,179	3.1	66,028	55,151	183.5
21 村債	821,200	21.0	429,990	391,210	191.0
合計	3,906,000	100.0	2,869,000	1,037,000	136.1

主な増減要因

- 国庫支出金 : 庁舎改修工事に伴うZRE普及促進に向けた省エネルギー建築物支援事業補助金等の増額です。
- 村債 : 庁舎改修工事、学校改修工事等に伴う増額です。
- 繰入金 : 庁舎改修工事、学校改修工事等に伴う増額です。

一般会計の内訳(歳出)

歳出合計 39億600万円

総務費	教育費	土木費	民生費	衛生費	その他
28.3%	15.9%	12.2%	9.7%	8.3%	25.6%

(単位:千円、%)

款	本年度予算額	割合	前年度予算額	比較	
				増減	比率
1 議会費	48,441	1.2	47,494	947	102.0
2 総務費	1,105,286	28.3	430,777	674,509	256.6
3 民生費	377,934	9.7	392,960	△ 15,026	96.2
4 衛生費	326,014	8.3	342,126	△ 16,112	95.3
5 農林水産業費	189,320	4.9	177,835	11,485	106.5
6 商工費	226,938	5.8	225,182	1,756	100.8
7 土木費	478,662	12.2	514,633	△ 35,971	93.0
8 消防費	241,033	6.2	283,757	△ 42,724	84.9
9 教育費	621,898	15.9	209,719	412,179	296.5
10 災害復旧費	30,500	0.8	0	30,500	皆増
11 公債費	257,588	6.6	242,913	14,675	106.0
12 予備費	2,386	0.1	1,604	782	148.8
合計	3,906,000	100.0	2,869,000	1,037,000	136.1

村民1人当たり(令和7年2月末現在)

納める村税額 23万6千円

使われるお金 263万4千円

村税の内訳

村民税 6,415万8千円

固定資産税 2億6,933万円

軽自動車税 451万5千円

村たばこ税 445万8千円

入湯税 779万5千円

合計 3億5,025万6千円

主な増減要因

○総務費:役場庁舎改修に伴う工事費等による増額です。

○教育費:赤井川小学校、赤井川中学校改修工事に伴う増額です。

○消防費:消防車両購入終了に伴う北後志消防組合への負担金の減額です。

用語の解説

◎地方交付税一村の財政状況に応じて国から交付されるお金です。

◎村債一国や銀行から借り入れるお金です。

◎公債費一村債(借入金)を返したり、借入れに伴う利子を払うお金です。

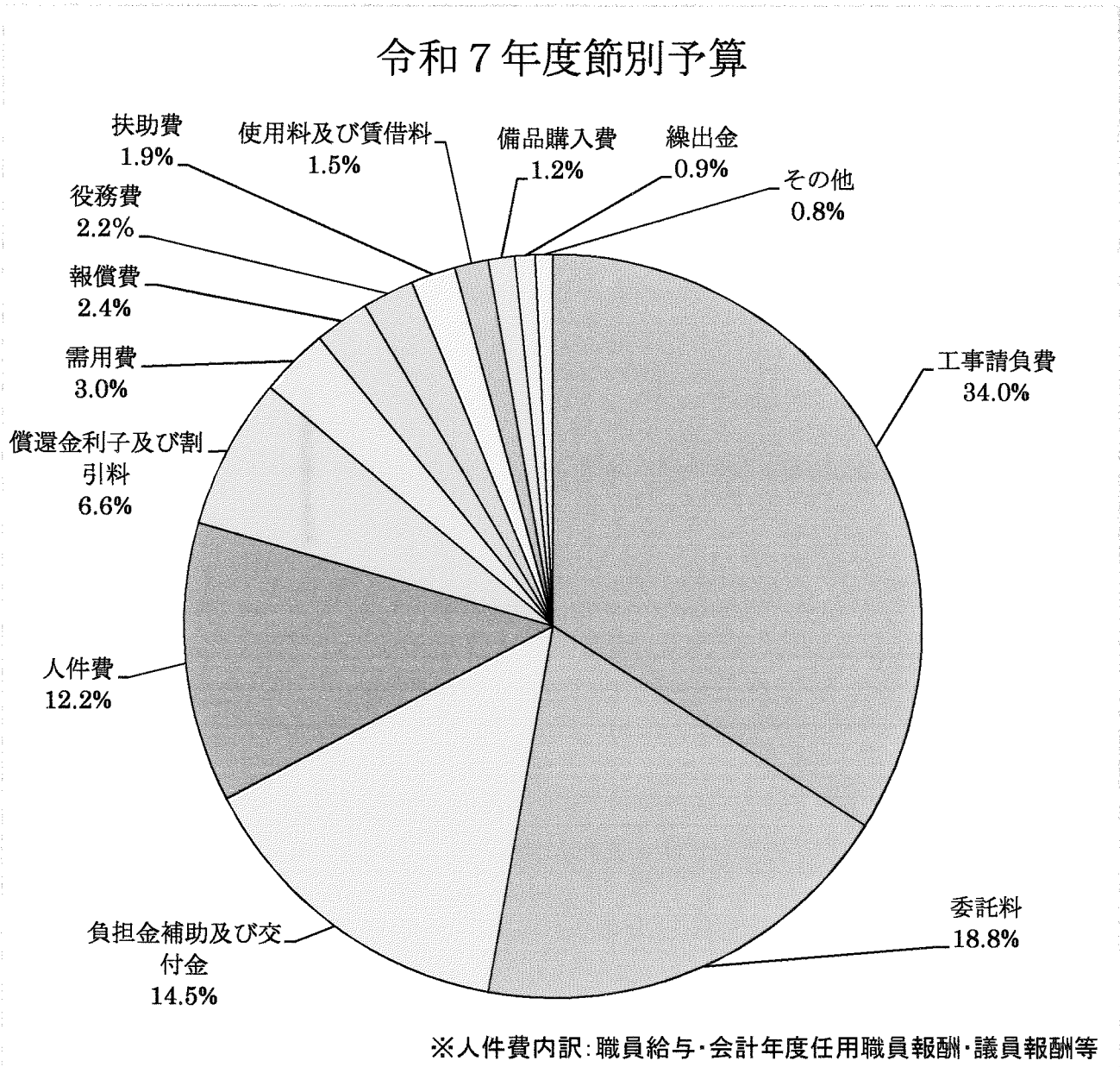
※住民の数は2月末現在の人口1,483人で計算(千円未満は四捨五入しています)。

一般会計節別予算

ここでは、一般会計の内どんな費用がどのくらい占めているのかをあらわしています。

令和7年度予算の特徴として大きく増額となったものは、役場庁舎改修工事や赤井川小学校、赤井川中学校改修工事などによる「工事請負費」や「備品購入費」。一方で大きく減額となったものは、北後志衛生施設組合の処理施設改修に伴う下水道広域化推進事業や北後志消防組合での消防車両購入が終了したことによる「負担金補助及び交付金」となっています。

また、「その他」の欄には「旅費」「積立金」「補償補填及び賠償金」「原材料費」「予備費」「交際費」「公有財産購入費」「公課費」が含まれています。



次のページからは、令和7年度に赤井川村が実施する主な事業の内容をお知らせいたします。地方自治体の財政運営は毎年厳しい状況が続いていますが、今後も、「住みよく、うるおいのあるむらづくり」に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議会費

予算額 4,844万1千円
(村民1人当たり3万3千円)
議員報酬や研修旅費など議会活動に使われる費用です。

- 議員報酬 1,995万6千円(前年度と同額)
 - ・村議会議員8名の報酬です。
- 議員期末手当 879万7千円(前年度比+19万円)
 - ・村議会議員8名の期末手当です。
- 議員研修旅費 45万円(前年度比-7万8千円)
 - ・村議会議員の研修視察に係る費用です。
- 会議録作成業務委託料 129万4千円(前年度と同額)
 - ・村議会の議事録を作成するための費用です。
- 議員共済会負担金 534万5千円(前年度と同額)
 - ・市町村議会議員共済年金を廃止したことにより必要な一時金等を支払うための費用です。

総務費

予算額 11億528万6千円
(村民1人当たり74万5千円)
庁舎・集会施設管理や公共交通、交通安全対策、税金・戸籍に関わる事務などに使われる費用です。

- 区会長謝金 52万5千円(前年度と同額)
 - ・区会長15名の報償費です。
- 赤井川村むらバス運行業務委託料 2,550万円(前年度比+704万7千円)
 - ・令和4年4月から運行を開始した赤井川村むらバスに係る費用です。
- 赤井川村地域公共交通活性化協議会補助金 20万円(前年度比-29万5千円)
 - ・地域公共交通計画の推進、進行管理を行うための費用です。
- 区会交付金 102万円(前年度比-4万8千円)
 - ・区会の活動等に対する交付金です。15区会に交付しています。
- 文書費 453万4千円(前年度比+11万4千円)
 - ・村条例、規則等例規集の追録や条例・規則等の作成支援、国や道の法律・条例等業務に必要な法令集の追録にかかる費用です。
※主な費用ー法制執務支援業務99万円、一般法令集追録代93万6千円など

○広報費 198万9千円（前年度比 -14万7千円）

- ・村広報誌の「広報あかがわ」を月1回（年12回）発行し、むらづくり情報などを提供します。

※主な費用—印刷製本費171万6千円など

○財産管理費 371万円（前年度比 -255万7千円）

- ・村有地の維持管理並びに村有地におけるさくら・もみじ基金事業などに使われる費用です。

※主な費用—公会計作成支援業務委託料55万円、さくら・もみじ基金事業費246万1千円など

○財政調整基金費 652万3千円（前年度比 -57万6千円）

- ・各種基金等への積み立てを行っています。

※主な費用—備荒資金組合超過納付金569万2千円、公共施設整備基金利子積立金53万1千円など

○地域安全対策費 294万3千円（前年度比 +44万4千円）

- ・交通安全推進員、交通安全指導員の報酬、交通安全協会や防犯協会の運営助成など地域の安全対策に使われる費用です。

※主な費用—交通安全灯電気料103万2千円、街路灯設置事業補助金49万5千円、交通安全協会運営事業補助金5万円など

○企画費 7億5,232万4千円（前年度比 +6億658万3千円）

- ☆再生可能エネルギー事業費（6億5,998万3千円／主な費用—委託料5,317万7千円、工事請負費6億267万8千円など）

都小学校利用計画基本構想、並びに太陽光発電、地中熱利用による役場庁舎改修工事を実施します。

- ☆新地方経済・生活環境創生事業費（6,097万円／主な費用—委託料6,097万円）

3年目を迎える新たな産業づくりを担う起業人材等の発掘から育成そして輩出へと段階的につなぐ事業、並びに地方創生事業における人材獲得をより加速するべく、地域おこし協力隊募集支援及び活動支援業務を行います。

（国の交付金事業名称に合わせ、事業名称を変更しています。旧デジタル田園都市国家構想交付金事業の継続事業です。）

- ☆企画総務費（822万7千円／主な費用—委託料573万4千円など）

令和8年度から施行の赤井川村総合戦略等を策定するほか、包括連携協定締結に基づく関連事業費、並びに北海道日本ハムファイターズ応援大使関連事業等を行います。

- ☆情報通信費（2,074万8千円／主な費用—委託料1,309万円など）

国、都道府県、市町村をネットワークで結び、行政事務の効率化を図る総合行政ネットワークに必要な機器類の保守管理、ネットワークの強靱化に向けた更新業務及び役場庁舎改修ネットワーク構築業務のほか、業務用パソコンの更新を行います。

- ☆「日本で最も美しい村」連合費（117万1千円／主な費用—負担金45万6千円など）

赤井川村が加盟している「日本で最も美しい村」連合の活動に使われる費用です。

○庁舎管理費 3,291万2千円（前年度比 +2,347万2千円）

- ・役場庁舎の維持管理を行う費用です。

※主な費用—光熱水費525万1千円、委託料128万8千円、修繕費10万円、備品購入費2,445万円など

- 集会施設管理費 1,916万3千円（前年度比 +341万9千円）
 - ・落合住民センター、都住民センター、山村活性化支援センター、コミュニティセンター、旧都保育所などの維持管理に必要な費用です。
 - ※主な費用－施設管理委託料156万円、山村活性化支援センター指定管理料590万円、山村活性化支援センター高圧機器更新工事(新規)680万円など

- 国民保護協議会費 827万7千円（前年度比 +779万3千円）
 - ・武力攻撃事態等における国民の保護（避難、救援・武力攻撃災害への対処等の措置）に必要な費用です。
 - ※主な費用－J-アラート受信機更新業務委託料(新規)777万1千円など

- 物価高騰対応重点支援事業費(新規) 689万4千円
 - ・令和6年度にて定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方への給付として、当初の調整給付に際し、推計額を用いて算定したことにより、結果として支給額に不足額が生じた方などに対し、不足した額を追加給付します。
 - ※主な費用－消耗品等事務費39万4千円、不足額給付金650万円など

- 徴税费 1,250万5千円（前年度比 -5万8千円）
 - ・税務係が賦課徴収を行う税金（村民税、固定資産税、軽自動車税など）事務を円滑に行うための費用です。
 - ※主な費用－委託料592万1千円、システム使用料495万円など

- 戸籍住民基本台帳費 3,141万5千円（前年度比 +639万9千円）
 - ・住民基本台帳事務に係るネットワークシステムの維持管理費用や戸籍事務を円滑に行うための費用です。
 - ※主な費用－社会保障・税番号制度システム整備業務委託料280万1千円、戸籍情報システム及び戸籍附票システム標準化対応業務委託料899万8千円、戸籍システムソフト使用料等1,169万2千円など

- 選挙費 545万円（前年比 +448万4千円）
 - ・村で行われる各種選挙が公正かつ円滑に行われるよう管理している選挙管理委員会の運営にかかる費用、並びに参議院議員通常選挙にかかる費用です。
 - ※主な費用－委員報酬126万6千円、選挙管理システム使用料26万4千円、参議院選挙区選出議員選挙用ポスター掲示場に関する業務委託料79万9千円、備品購入費(新規)83万円など

- 統計調査費 103万9千円（前年度比 +87万4千円）
 - ・村内で行われる各種統計調査を円滑に行うための費用です。本年度実施が予定されている統計調査は、国勢調査等です。
 - ※主な費用－統計調査員等報酬86万3千円、消耗品費等17万1千円など

- 監査委員費 98万4千円（前年度比 -30万円）
 - ・村の会計が適正に行われているかどうかをチェックし、行政運営の公正の確保を目的に行われている各種監査にかかる費用です。
 - ※主な費用－監査委員報酬70万円など

民生費

予算額 3億7,793万4千円

(村民1人当たり25万5千円)

子どもや高齢者の方などの福祉や医療支援に使われる費用です。

- 赤井川村地域おこし協力隊員活動推進支援事業費 563万3千円(前年度比+61万9千円)
 - ・村民の社会参加、通院や買い物に必要な交通手段サービス等、地域福祉の充実を図ることを目的とした、地域おこし協力隊員の活動経費にかかる費用です。
 - ※主な費用—赤井川村地域おこし協力隊員活動推進支援業務委託料 563万3千円

- 社会福祉・民生委員費 101万7千円(前年度比+2万7千円)
 - ・村民の社会福祉の増進を図るため、国・道・村から委嘱を受けている社会福祉・民生委員の活動に対する費用です。(民生委員6名、主任児童委員2名)
 - ※主な費用—委員報酬7万3千円、民生委員児童委員協議会交付金84万1千円など

- 社会福祉協議会運営事業補助金 1,910万7千円(前年度比+373万1千円)
 - ・社会福祉の充実向上のため活動している社会福祉法人赤井川村社会福祉協議会の運営に対し助成します。
 - ※主な費用—補助金1,910万7千円

- 障害者福祉費 4,709万4千円(前年度比+568万7千円)
 - ・身体障がい者の日常生活用具や補装具の給付、福祉施設入所の措置費などを助成します。
 - ※主な費用—障害者福祉システム標準化対応業務委託料635万5千円、介護給付費・訓練等給付費3,480万円、補装具給付費20万円、自立支援医療費60万円など

- 老人福祉費 1,465万2千円(前年度比-41万7千円)
 - ・村の老人福祉の充実、向上を目指し、以下の事業を行っています。
 - ☆悠楽学園大学講師謝金(3万円/主な費用—講師謝金(新規)3万円)
悠楽学園大学に講師を招き、講話等を実施します。
 - ☆緊急通報システム事業(28万2千円/主な費用—システム委託料21万6千円、電話架設料6万6千円)
概ね65歳以上の単身のお年寄りの方などに、緊急通報用の電話機、ペンダント型発信機を設置し、24時間体制でけがや病気などの緊急時に対応できるようにします。
 - ☆高齢者補聴器購入助成事業(拡充)(10万円/主な費用—補聴器購入補助金10万円)
65歳以上の高齢者及び身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中程度の難聴による補聴器購入に対して助成金を交付します。
 - ☆高齢者除雪支援事業(200万円/主な費用—在宅高齢者除雪支援助成金200万円)
65歳以上の方のみで構成され一定の要件を満たした世帯に対し、除雪費用の8割(上限10万円)を助成する事業です。
 - ☆敬老年金(713万5千円/主な費用—敬老年金713万5千円)
高齢者の長寿をお祝いするため、毎年70歳以上の方々に敬老年金を贈呈します。(敬老年金の額—70歳以上2万円、75歳以上2万5千円、80歳以上3万円)

- ・ 養護老人ホームに入所する高齢者に対する措置費です。
 ☆老人福祉施設入所者措置費（195万3千円／主な費用－入所者措置費195万3千円）
 - ☆福祉パスポート利用者入館料補償金（180万円／主な費用－福祉パスポート利用者入館料補償金180万円）
 65歳以上の高齢者の赤井川温泉無料化に伴う事業費です。
- 敬老会費 72万5千円（前年度比 +5万円）
- ・ 毎年、長寿をお祝いする敬老会開催にかかる費用です。
 ※主な費用－食糧費40万5千円、印刷製本費9万9千円など
- 重度心身障害者並びにひとり親家庭等医療費 159万4千円（前年度比 +8万円）
- ・ 重度心身障害者及びひとり親家庭等の親と児童の保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的に、医療費の助成を行っています。（重度－入通院、ひとり親の子－入通院、ひとり親－入院のみ）
 ※主な費用－医療費148万円、請求事務手数料等5万1千円など
- 後期高齢者医療費 2,466万円（前年度比 +142万6千円）
- ・ 後期高齢者医療の保険者は道内全ての市町村で構成する北海道後期高齢者医療広域連合です。この広域連合の運営経費及び村の医療費負担分が計上されています。
 ※主な費用－後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金1,533万2千円、特別会計繰出金932万8千円
- 介護保険事業費 6,912万4千円（前年度比 -3,414万1千円）
- ・ 令和2年度より居宅介護支援事業の運営を赤井川村社会福祉協議会が担っていることから、その経費に対する補助金を計上しているほか、令和4年度よりデイサービスセンターにおける施設利用サービスの向上や業務の効率化を図ることを目的として指定管理者制度を導入したため、施設の管理費用等をデイサービスセンター費に計上しています。
 ※主な費用－後志広域連合負担金3,088万5千円、居宅介護支援事業補助金490万円、デイサービスセンター指定管理料3,114万6千円など
- 地域支援事業費 4,993万3千円（前年度比 +102万1千円）
- ・ 介護保険事業の介護予防事業等に係る予算となっています。（日常生活支援総合事業、包括支援事業等）
 ※主な費用－日常生活支援総合事業委託料29万2千円、地域包括支援センター運営業務委託料3,520万7千円、生活支援体制整備事業委託料945万6千円、高齢者世話付住宅援助員派遣事業委託料412万5千円、小樽・北しりべし成年後見センター負担金28万9千円 など
- こども医療費 401万3千円（前年度比 +96万6千円）
- ・ 北海道の事業として行っている乳幼児医療費助成制度で、就学前までの医療費助成のほか、村独自の制度として平成27年7月より小学生～中学生、加えて令和7年度より高校生の医療費も助成を行います。
 ※主な費用－就学前医療費91万2千円、小・中学生医療費(村拡大助成分)216万4千円、高校生医療費(村拡大助成分)(新規)80万円など

○保育所運営費 1,942万円（前年度比 -83万3千円）

- ・赤井川へき地保育所の運営及び村外保育所等の利用に係る費用です。令和元年10月より国の施策として3才以上の幼児に係る利用料は無償化されました。赤井川へき地保育所を利用する2才児については、引き続き、村の独自施策として無償化しています。
- ※主な費用－保育所ランチデー事業(新規)19万8千円(※令和7年6月より開始予定)、広域入所委託料1,013万7千円、施設型給付費487万6千円 など

○児童措置費 1,596万6千円（前年度比 +327万6千円）

- ・高校生までの児童・生徒に対し支給される児童手当に関する費用です。
- ※主な費用－児童手当1,596万5千円など

衛生費

予算額 3億2,601万4千円

(村民1人当たり22万円)

病気の予防対策や各種健診、ごみ収集など保健と衛生に使われる費用です。

○保健活動費 111万5千円（前年度比 +40万1千円）

- ・村民の健康活動の支援などを行っています。
- ※主な費用－妊産婦健康診査事業(拡充)76万9千円、1ヵ月児健康診査事業(新規)2万4千円、ふれあい健康まつり実行委員会補助金18万円など

○母子保健相談指導事業費 360万9千円（前年度比 +202万7千円）

- ・乳児、1歳6ヶ月、3歳児のお子さんの成長を確認し、また育児の様々な不安や疑問に対する相談や指導を行っています。
- ※主な費用－栄養相談料9万円、医師診察料9万円、育児相談料3万5千円、産後ケア事業委託料30万6千円(令和7年度より支援を拡充)、北後志母子通園センター事業運営負担金39万9千円、妊産婦安心出産支援補助金(新規)11万5千円、不妊治療等助成金(新規)18万7千円、妊婦支援給付金(新規)50万円(※出産子育て応援給付金からの移行)、スポットビジョンスクリーナー(こどもの視力を正しく検査する機器)購入費(新規)157万2千円など

○保健推進員協議会補助金 50万円（前年度と同額）

- ・住民の健康の保持、増進及び疾病の早期発見、早期治療を目的とした保健推進活動をしていただいている保健推進員協議会の活動に対し助成します。また、地区の健康づくり、体力づくり事業にも助成しています。
- ※主な費用－補助金50万円

○こども家庭センター費(新規) 179万円

- ・保健師等が中心となって行う母子保健支援と社会福祉士等が中心となって行う児童福祉支援を一体的に取り組みます。
- ※主な費用－親子相談室・キッズルーム修繕費100万円、キッズルーム等備品購入費30万円など

○予防費 1,996万9千円（前年度比 +1,143万4千円）

- ・疾病の早期発見や生活習慣病の予防、並びに児童及び高齢者の予防接種にかかる費用です。また、健康管理に要するシステム関連経費も含まれます。

※主な費用－予防接種委託料 300万円(令和7年度より一部拡充)、基本健診・各種がん検診委託料 430万円、健康増進調査委託料(新規)102万円、健康管理システム改修事業委託料(新規)943万5千円など

※令和7年度より带状疱疹・こどもインフルエンザワクチン接種助成を行います。

○保健・介護一体的実施推進事業費(新規) 7万9千円

- ・高齢者が抱える心身の課題に対応するために、保健事業と介護予防事業を一体的に取り組み、住民の健康寿命の延伸につながる事業を行います。

※主な費用－消耗品費 4万3千円、栄養相談料 3万6千円など

○墓地・火葬場費 814万5千円（前年度比 +123万8千円）

- ・火葬場の管理委託料や赤井川・都・常盤墓地の維持にかかる費用です。

※主な費用－火葬場管理委託料 509万9千円、光熱水費 63万5千円など

○廃棄物処理費 8,542万4千円（前年度比 -4,921万9千円）

- ・一般廃棄物最終処分場の管理やごみの収集業務及び、し尿処理にかかる費用です。可燃（燃やせる）ごみは北しりべし廃棄物処理広域連合の焼却施設で処理しています。

※主な費用－一般廃棄物最終処分場管理委託料 2,200万円、一般廃棄物・資源リサイクル収集委託料等 2,725万5千円、北後志衛生施設組合負担金 1,778万5千円、北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,255万9千円など

○狂犬病予防費 7万円（前年度比 +7千円）

- ・畜犬の登録や狂犬病予防にかかる費用です。

※主な費用－予防注射事務委託料 1万7千円、印刷製本費 4万円など

○診療所費 4,311万7千円（前年度比 +1,406万8千円）

- ・赤井川診療所の運営・管理にかかる費用です。

※主な費用－運営・管理委託料 2,340万円、医療機器リース料 59万8千円、整形診療医師謝金 60万円、診療所エアコン新設工事(新規)343万8千円、汎用超音波画像診断装置購入費(新規)550万円、輸液ポンプ購入費(新規)20万4千円など

○健康支援センター費 856万7千円（前年度比 +5万1千円）

- ・健康支援センターの維持管理にかかる費用です。

※主な費用－光熱水費 223万5千円、設備点検委託料等 174万4千円など

ひょうごのうりんすいさんぎょうひ 農 林 水 産 業 費

予算額 1億8,932万円

(村民1人当たり12万8千円)

農林業の振興や農業委員会の活動にかかる費用です。

○農業委員会費 406万円 (前年度比 -285万円)

- ・主に農地の所有権移転や賃貸借・使用貸借権等の設定の許可を行う農業委員会が優良農地の保全や活用が効率的に図られるよう協議・調整するとともに、新規就農者や後継者支援等担い手対策活動を進める経費と農業者年金事務にかかる費用です。

※主な費用－農業委員報酬250万円、旅費53万6千円、農業者年金受託事業費10万1千円など

○農業振興対策費 (村単独事業) 1,566万円 (前年度比 +283万円)

- ・農業農村活動の活性化をめざし、以下の事業に支援を行っています。

☆交配用蜜蜂導入事業補助金 (84万3千円)

メロン、南瓜等の花粉交配作業の省力化を図るため、蜂箱借り上げ料に対し支援します。

☆土づくり対策事業補助金 (800万円)

各生産者が堆肥を確保し、継続的に土づくりが行えるよう支援します。
金利息について助成します。

☆農業団体・部会活動支援事業補助金 (40万円)

本村農作物の品質・技術向上や販路拡大を推進するため、農業団体・部会に対して活動費用の助成を行います。令和7年度より農業振興計画・食育推進計画に資する活動に対する補助額の拡充を実施します。

☆農泊推進対策事業補助金 (30万円)

農泊推進対策協議会が行う農泊の推進や運営を行うための費用です。

☆営農実習支援助成金 (120万円)

新規就農研修受入農家に対し、営農実習支援として助成金を交付します。

☆スマート農業推進事業補助金(新規) (125万円)

農業DXを推進するため、国の補助対象外事業に対して助成を行い、先端技術の活用によって、省力化や生産性の向上を支援します。

☆耕作放棄地解消事業補助金 (90万円)

耕作放棄地と化している農地を農作物が生産できる状態へ再生するため、基盤整備に必要な経費に対して助成を行い、生産面積拡大による所得向上を支援します。

○環境保全型農業直接支援対策事業費 547万円 (前年度比 +131万2千円)

- ・化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みと併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援するための費用です。

※主な費用－環境保全型農業直接支援対策事業補助金536万円など

- 農業次世代人材投資事業費 1,662万3千円（前年度比 -327万7千円）
- ・新たに経営を開始する方及び就農後の経営発展のために、設備や施設等の導入の取り組みに対して支援するための費用です。
 - ※主な費用－農業次世代人材投資事業補助金1,657万5千円など
- 新規就農等促進施設管理費 25万4千円（前年度比 -10万5千円）
- ・就農希望者のほか短期農業体験（移住希望者含む）並びに期間限定の農作業従事者等にも対応する住環境を令和4年度に整備しており、その施設を維持管理するための費用です。
 - ※主な費用－インターネット回線通信費9万円、建物災害共済保険料1万4千円など
- 畜産業費 30万3千円（前年度比 +2万円）
- ・畜産農家の肥育環境の改善と防疫活動の円滑化を図るための費用です。
 - ※主な費用－みなみ北海道農業共済組合後志家畜診療センター運営事業負担金14万4千円、家畜防疫対策事業補助金6万2千円、乳質改善事業補助金6万5千円など
- 農地費 3,764万3千円（前年度比 +588万円）
- ・主に農作物の生産基盤を改善するためにかかる事業経費です。
 - ☆畑地かんがい実態調査事業費（37万6千円／主な費用－需用費19万9千円など）
 - ☆多面的機能支払交付金事業費（386万8千円／主な費用－資源保全隊に対する交付金380万4千円など）
 - ☆小規模土地改良事業費（129万4千円／主な費用－維持管理適正化曲川地区負担金（新規）64万1千円など）
 - ☆水利施設等保全高度化事業費（3,210万5千円／主な費用－赤井川地区事業負担金2,924万円、余市川第2地区事業負担金201万5千円など）
 - 北海道が事業主体となって実施する農地基盤整備事業です。今年度において、農地基盤整備工事・かん水機材導入等を予定しています。
- 農業振興センター管理費 926万円（前年度比 -120万3千円）
- ・野菜や花き苗の育成や農作業の受託及び新規就農希望者研修等により農業経営を支援しています。令和6年度より、苗代は事業者に直接助成しています。
 - ※主な費用－苗購入事業補助金650万円、管理委託料89万4千円、新規就農支援及び畑かん調査事業補助金100万円など
- 地籍調査成果管理費 111万9千円（前年度比 -20万7千円）
- ・地籍調査後の地番、面積、境界等を適正に管理するため、数値の電算管理を行っています。
 - ※主な費用－地籍成果管理事業委託料66万円など
- 水利施設管理費 1,802万1千円（前年度比 +57万8千円）
- ・落合ダム、畑かん用水路を管理するための費用です。
 - ※主な費用－各種設備保守点検委託料等894万4千円など

○林業振興費 1,569万8千円（前年度比 -256万9千円）

・森林整備計画に基づき、村有林の整備及び計画的に実施される民有林の造林に対し支援するとともに、今後の計画的森林整備のための調査等へ支援を行います。今年度も民有林の造林（7.5ha/前年度比+4.0ha）を予定しています。（村有林の造林は今年度は実施しません。）

※主な費用－野ねずみ生息予察調査委託料 15万3千円、森林調査用備品購入費（新規）36万3千円、森林環境譲与税活用事業補助金 39万円、豊かな森づくり推進事業補助金 312万円、森林管理計画意向調査委託料 102万7千円など

○有害鳥獣駆除費 502万8千円（前年度比 -7千円）

・鳥獣による農作物等被害対策や駆除を行う費用です。

※主な費用－有害鳥獣駆除隊員報酬 50万円、狩猟免許等取得者人材育成補助金 22万2千円、村鳥獣害防止対策協議会負担金 190万円、被害防止機材等購入補助金 180万円、ヒグマ捕獲補助金（新規）2万円など

○地域おこし協力隊員活動費 155万1千円（前年度比 +6千円）

・有害鳥獣駆除業務に従事する地域おこし協力隊員の活動等に必要な費用です。

※主な費用－需用費 18万6千円、研修及び活動負担金 48万円など

しょうこうひ 商工費

予算額 2億2,693万8千円

（村民1人当たり15万3千円）

商工業の振興や観光事業、ふるさと納税のために使われる費用です。

○商工労働費 909万4千円（前年度比 +37万9千円）

・村商工会の運営・村産物の販売促進に対する支援にかかる費用です。

※主な費用－商工会運営費補助金 750万円（※観光協会事務引継ぎ分含む）、特産品開発支援事業補助金 60万円など

○ふるさと納税事業費 1億4,880万円（前年度比 1,729万4千円）

・平成28年度から開始したふるさと納税に係る必要な費用です。（令和6年度より総務費から移行しました。）

※主な費用－ふるさと納税返礼品代（送料含む）9,000万円、手数料（募集代行、システム管理費用）5,482万5千円など

○地域おこし協力隊員活動費 168万9千円（前年度比 +1万5千円）

・ふるさと納税の受付、PR、地域の情報・魅力を発信する地域おこし協力隊員の活動等に必要な費用です。（令和6年度より総務費から移行しました。）

※主な費用－普通旅費 12万円、車両リース料 26万4千円、研修受講負担金 6万円など

○観光費 4,189万7千円（前年度比 +36万8千円）

・村観光協会の活動支援や村の観光振興を推進する費用です。

※主な費用－ウィンターフェスティバル&シーニックナイト補助金 50万円、まるっとカルデラ農村フェス補助金 300万円、道の駅あかいがわイベント補助金 50万円、道の駅あかいがわ指定管理料 3,119万2千円など

○保養センター費 1,400万8千円（前年度比 -1,766万9千円）

・赤井川温泉（保養センター）の維持管理にかかる費用です。

※主な費用－指定管理料1,334万円など

土木費

予算額 4億7,866万2千円

（村民1人当たり32万3千円）

道路や河川などの維持整備、公営住宅の建設及び各住宅の維持補修、小公園の管理に使われる費用です。

○道路維持費 1億4,020万7千円（前年度比 +358万7千円）

☆道路維持修繕費（4,321万8千円／主な費用－村道維持整備工事899万2千円、村道草刈・維持管理作業委託料2,814万5千円、花いっぱい運動参加用花購入費105万7千円など）

赤井川市街地や高原道路など約134.0kmの村道の草刈業務や舗装、サイドラインの補修、側溝清掃などを行います。

☆除圧雪費（9,683万9千円／主な費用－村道等除雪業務9,400万円、雪上車保管料7万円、冬期用資材140万円など）

村道（59路線、延長約55.1km）や公共施設など（29箇所）の除雪を行います。

○道路新設改良費 8,337万9千円（前年度比 -2,972万5千円）

☆富田線道路改良工事（継続）

※主な費用－概略設計業務委託料（新規）220万円など

☆北丸山線道路改良工事（継続）

延長210m 幅員 4.0m

※主な費用－工事設計委託料（測量含）1,500万円、工事請負費5,000万円など

○橋梁維持費 1,500万円（前年度比 -4,800万5千円）

・村が管理する橋梁の維持及び補修にかかる費用です。

※主な費用－橋梁補修工事1,500万円など

○河川費 2,968万1千円（前年度比 +3万7千円）

・村が管理する河川の維持にかかる費用です。

※主な費用－河川整備工事2,680万円など

○都市計画費 5,757万3千円（前年度比 +636万5千円）

☆景観形成推進費（430万3千円／主な費用－景観計画ガイドライン策定業務委託料400万4千円、景観計画策定委員会委員報酬19万8千円など）

景観法に基づく景観計画を策定する費用です。

☆小公園管理費（5,327万円／主な費用－管理業務委託料・指定委託料4,135万6千円、管理計画書作成業務委託料（新規）50万円など）

カルデラ公園、みやこ公園、都運動公園、栗林公園、さくらの森公園などの維持管理にかかる費用です。（令和6年度より商工費から移行しました。）

○住宅管理費 1億4,979万4千円（前年度比 +3,308万7千円）

・村が管理する村営住宅や村有住宅の建設及び維持管理、移住・定住支援事業、合併浄化槽設置補助金、入居者選考委員会にかかる費用です。

※主な費用—村営中央団地個別改善内部改修工事1,915万1千円、村営中央団地個別改善共用部改修工事6,744万4千円、村営桜団地個別改善改修工事1,651万7千円、移住・定住支援事業補助金600万円、合併浄化槽設置補助金60万円など

しょうぼうひ 消 防 費

予算額 2億4,103万3千円

（村民1人当たり16万3千円）

災害防止や救急業務のために使われる費用です。

○北後志消防組合負担金 1億5,522万2千円（前年度比 -1億2,239万9千円）

・火災の防止や救急時の搬送等の活動をしている北後志消防組合の運営にかかる費用です。

※主な費用—負担金1億5,522万2千円

○災害対策費 8,581万1千円（前年度比 +7,967万5千円）

・一般災害の防止や、原子力防災対策など災害時の情報提供を目的に設置されている防災行政無線の維持管理や備蓄用品購入のための費用です。

※主な費用—防災行政無線保守点検業務委託料373万8千円、防災行政無線操作卓更新工事（新規）7,579万円、防災資機材等購入費60万円、北後志広域防災連携負担金2万6千円など

きょういくひ 教 育 費

予算額 6億2,189万8千円

（村民1人当たり41万9千円）

学校教育のほか社会教育などに使われる費用です。

○教育総務費 1億2,237万3千円（前年度比 +6,061万1千円）

☆教育委員会費（114万1千円／主な費用—教育員委員報酬90万円、旅費等9万8千円など）

☆教員住宅建設費（新規）（5,918万円／主な費用—工事請負費5,918万円）
教頭住宅を新築する費用です。

☆都小学校閉校記念事業（新規）（183万8千円／主な費用—補助金170万8千円）
都小学校の閉校記念式典に対し助成します。

○小学校管理費 2億7,770万1千円（前年度比 +2億5,213万5千円）

・赤小と都小の維持管理にかかる費用です。

※主な費用—委託料1,122万6千円、光熱水費500万円、赤小改修工事（新規）2億5,000万円など

- 小学校教育振興費 928万9千円（前年度比 -12万3千円）
 - ・赤小と都小で使用する教材や備品等を購入する費用です。
 - ※主な費用－教授用消耗品等 247万1千円、体カテスト集計システム使用料(新規)9千円、備品購入費 507万8千円(※タブレット端末購入費(新規))など
- 中学校管理費 3,183万6千円（前年度比 +1,801万8千円）
 - ・赤中の維持管理にかかる費用です。
 - ※主な費用－委託料 681万4千円、光熱水費 228万4千円、赤中改修工事(新規)1,640万円など
- 中学校教育振興費 2,709万9千円（前年度比 +667万9千円）
 - ・赤中で使用する教材や備品のほか、スクールバスの運行にかかる費用です。
 - ※主な費用－スクールバス運行委託料 1,008万円、備品購入費 203万7千円(※タブレット端末購入費(新規))、外国語指導業務(A L T)委託料 622万4千円、中学校プログラミング学習支援業務委託料(新規)50万円、中学校体育連盟道・全国大会参加補助金 50万円など
- 社会教育総務費 8,836万4千円（前年度比 +7,102万3千円）
 - ☆村社会教育団体運営事業補助金（62万円／主な費用－カルデラ太鼓保存会補助金 50万円、連合PTA補助金 12万円）
 - 連合PTA、カルデラ太鼓保存会の活動に対し助成しています。
 - ☆国際交流推進事業費（1,029万9千円／主な費用－国際交流推進委員会運営事業補助金 20万円、海外研修事業補助金 1,009万9千円）
 - 外国人留学生との国際交流の推進や中学生の海外研修に対し助成しています。
 - ☆小中学校児童生徒学力向上サポート事業費（14万9千円／主な費用－事業助成金 14万9千円）
 - 小中学生の学力向上に資するために、英語検定料の一部を助成しています。
 - ☆子ども第三の居場所施設改修工事(新規)（6,977万円／主な費用－工事請負費 6,977千円）
 - どんな“こども”も健やかに育まれる場づくりを目指すための拠点を整備します。
- 放課後子ども教室費 163万1千円（前年度比 -6千円）
 - ・放課後子ども教室の人件費を除く運営にかかる費用です。
 - ※主な費用－消耗品費 12万円、送迎委託料 118万5千円など
- 社会教育施設費 1,039万2千円（前年度比 +148万6千円）
 - ・生活改善センターと郷土資料館の維持管理にかかる費用です。
 - ※主な費用－管理委託料 842万円など
- ジュニアクロスカントリースキー大会事業補助金 50万円（前年度と同額）
 - ・毎年実施されているジュニアクロスカントリースキー大会の運営にかかる費用を助成しています。
 - ※主な費用－補助金 50万円
- 村体育団体活動補助金 22万5千円（前年度比 -4万5千円）
 - ・村内で活動している各種体育団体に対し助成しています。（5団体に各4万5千円）
 - ※主な費用－補助金 22万5千円（パークゴルフ協会 4万5千円、スポーツ少年団 4万5千円など）

○体育施設費 2,747万5千円（前年度比 +338万7千円）

- ・村内の体育施設（プール、体育館、山村広場）の維持管理にかかる費用です。
※主な費用－管理委託料 1,087万9千円、光熱水費 496万3千円、村営都プール温水ボイラー更新工事 528万円など

○学校給食費 2,460万4千円（前年度比 -108万3千円）

- ・村内小中学校の学校給食委託にかかる費用や村の独自施策として、平成27年7月より開始している小・中学校の給食費の無償化に要する費用です。
※主な費用－学校給食業務負担金 2,045万1千円、児童生徒給食費負担金（村負担分） 328万6千円など

災 さいがいふっきゅうひ 害復旧費

予算額 3,050万円（当初 新規）

（村民1人当たり2万1千円）

災害または災害防止によって改修等を要する施設にかかる費用です。

○道路河川災害復旧費 3,050万円（当初 新規）

- ・村が管理する道路河川の災害復旧等にかかる費用です。
※主な費用－用地確定測量業務委託料 200万円、災害復旧工事等 2,850万円

公 こうさいひ 債費

予算額 2億5,758万8千円

（村民1人当たり17万4千円）

村が借りたお金の返済や利子の支払いに使われる費用です。

○公債費 2億5,758万8千円（前年度比 +1,467万5千円）

- ・村が借りたお金の返済や利子の支払いを行います。昨年度よりも償還金は増加しています。
※主な費用－元金償還 2億4,789万4千円、利子償還 969万4千円

予 よびひ 備費

予算額 238万6千円

（村民1人当たり2千円）

○予備費 238万6千円（前年度比 +78万2千円）

- ・予算成立後において歳出に計上された予算に不足が生じたり、災害などの予見し難い費用の不足に充てるための費用です。

とくべつかいけいのじょうきょう 特別会計の状況

後期高齢者医療特別会計 2,123万2千円
前年比 +105万円（村民1人当たり1万4千円）

国民健康保険特別会計 4,909万6千円
前年比 +580万7千円（村民1人当たり3万3千円）

こうえいきぎょうかいけいのじょうきょう 公営企業会計の状況

簡易水道事業会計 2億1,224万1千円
前年比 +1億4,070万5千円（村民1人当たり14万3千円）

下水道事業会計 2億1,691万4千円
前年比 +7,026万1千円（村民1人当たり14万6千円）

※令和6年度から、簡易水道事業及び下水道事業は公営企業法適用により、公営企業会計へ変更となりました。

その他

○繰り越して行う事業等

- ・令和6年度の補正により予算計上を行いました。特別な事情により年度内に事業等の完了が見込めない下記の事業について、予算を令和7年度に繰り越して実施することになっています。

【一般会計】

- ☆新規就農者育成総合対策事業補助金（初期投資促進分）
- ☆強い産業づくり事業補助金（担い手確保・経営強化分）
- ☆北丸山線道路改良工事及び用地買収費、立木補償費
- ☆橋梁補修工事（共栄東橋架替に伴う付帯工事分）及び用地買収費
- ☆移住・定住支援事業補助金
- ☆北後志消防組合負担金（消防車両購入事業分）

○ふるさと納税は、皆さんの暮らしに活用しています

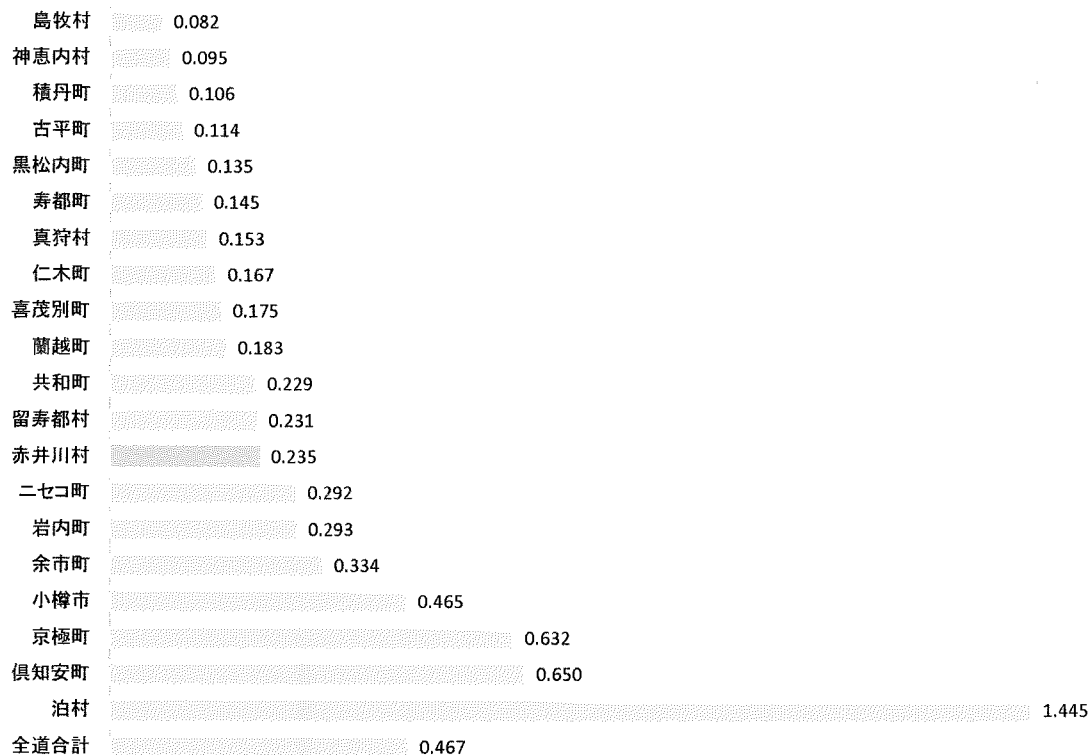
- ・全国各地より、赤井川村への応援として「ふるさと納税」による寄付が寄せられています。令和4年度は3.0億円、令和5年度は3.5億円と増加しました。このふるさと納税は、赤井川村の“まち”“ひと”“しごと”に関わる事業をはじめ、皆さんの暮らしに様々なかたちで活用している貴重な財源となっています。

令和5年度決算で見る赤井川村の財政状況

北海道市町村の普通会計決算の概要が公表されました。ここでは、後志管内の市町村と比較して、赤井川村がどのような財政状況にあるのかをお知らせします。引用:「北海道HP」・「後志振興局HP」

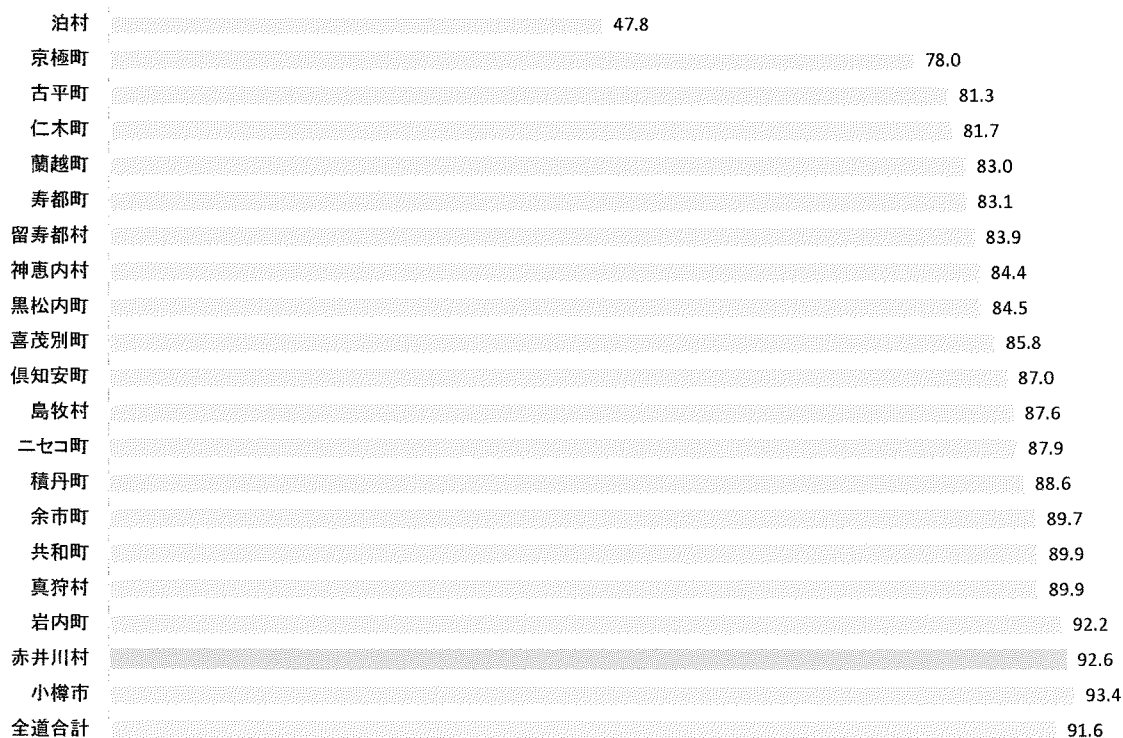
財政力指数

人口や面積などで標準的にかかるお金に対し、自主的な収入（税金など）がどのくらいあるのかを示す目安です。「1.00」だと100%自分たちのお金で市町村財政を運営できることになります。（赤井川村は0.235で管内で8番目に高い）



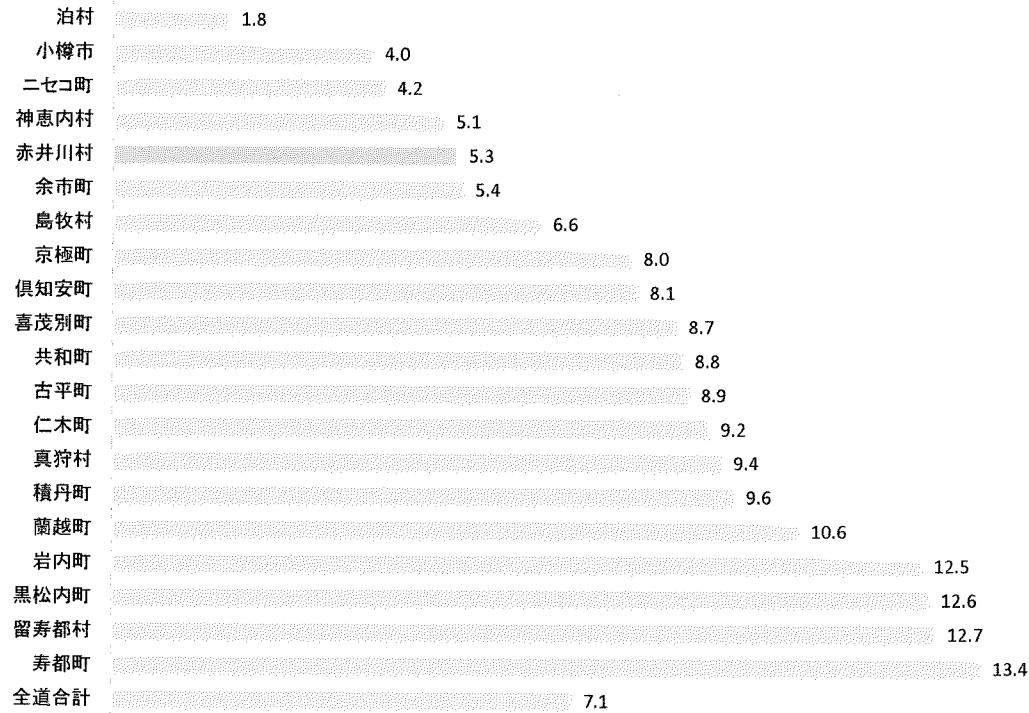
経常収支比率

村税など毎年決まって入ってくる経常的な収入が、人件費など毎年決まって出ていく経常的な経費に、どの程度あてられているかを示す比率で、低いほど自由に使えるお金があります。（赤井川村は92.6%で管内で2番目に高い）



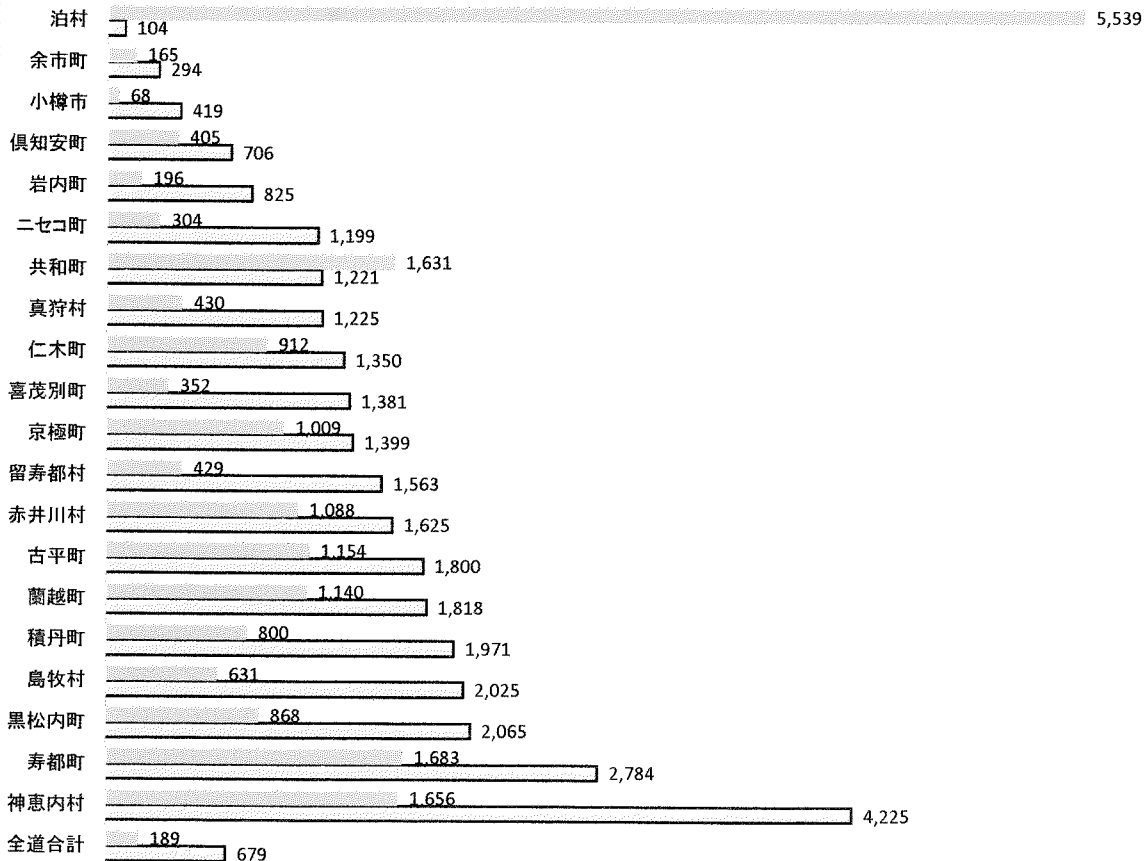
実質公債費比率

地方債を借り入れする場合の指標で、一般会計のほか簡易水道や下水道など公営企業の支払う元利償還金への一般会計からの繰出金などを算入することで連結決算の考え方を導入し、この比率が高くなると一定の制限を受けることとなります。(赤井川村は5.3で管内で5番目に低い)



地方債と積立金残高

人口1人当たりの借金(地方債)と貯金(積立金)の金額です。(赤井川村は地方債が1,625千円で管内で8番目に高く、積立金は、1,088千円と管内で7番目に高い)



※上段が貯金(積立金)、下段が借金(地方債)です(単位は千円)